



# AWS にデータブローカーをインストールする Cloud Manager

Ben Cammett  
April 08, 2021

# 目次

AWS にデータブローカーをインストールする .....	1
サポートされている AWS リージョン .....	1
ネットワーク要件 .....	1
AWS にデータブローカーを展開するために必要な権限 .....	1
AWS データブローカーで独自の IAM ロールを使用するための要件 .....	1
データブローカーのインストール .....	2

# AWS にデータブローカーをインストールする

新しいデータブローカーを作成するときは、AWS のデータブローカーオプションを選択して、VPC 内の新しい EC2 インスタンスにデータブローカーソフトウェアを導入します。Cloud Sync ではインストールプロセスがガイドされますが、インストールの準備に役立つように、このページの要件と手順が繰り返されています。

また、クラウド内または社内の既存の Linux ホストにデータブローカーをインストールすることもできます。["詳細はこちら。"](#)

## サポートされている AWS リージョン

中国と GovCloud（米国）以外のすべての地域がサポートされています。

## ネットワーク要件

- データブローカーは、アウトバウンドインターネット接続を必要としているため、クラウド同期サービスにポート 443 経由のタスクをポーリングできます。

Cloud Sync は、AWS にデータブローカーを導入すると、必要なアウトバウンド通信を有効にするセキュリティグループを作成します。インストールプロセス中にプロキシサーバーを使用するようにデータブローカーを設定できます。

アウトバウンド接続を制限する必要がある場合は、を参照してください ["データブローカーが連絡するエンドポイントのリスト"](#)。

- ネットワークタイムプロトコル（NTP）サービスを使用するように、ソース、ターゲット、およびデータブローカーを設定することを推奨します。3 つのコンポーネント間の時間差は 5 分を超えないようにしてください。

## AWS にデータブローカーを展開するために必要な権限

の導入に使用する AWS ユーザーアカウント データブローカーの権限は、に含まれている必要があります ["ネットアップが提供するポリシーです"](#)。

## AWS データブローカーで独自の IAM ロールを使用するための要件

Cloud Sync は、データブローカーを導入するときに、データブローカーインスタンスの IAM ロールを作成します。必要に応じて、独自の IAM ロールを使用してデータブローカーを展開できます。組織に厳密なセキュリティポリシーがある場合は、このオプションを使用できます。

IAM ロールは、次の要件を満たす必要があります。

- EC2 サービスは、IAM の役割を信頼できるエンティティとして引き受けることを許可されている必要があります。
- ["この JSON ファイルで定義されている権限"](#) データブローカーが正しく機能するように、IAM ロールに

関連付ける必要があります。

データブローカーを導入する際に IAM ロールを指定するには、次の手順に従います。

## データブローカーのインストール

同期関係を作成するときに、AWS にデータブローカーをインストールできます。

### 手順

1. [ 新しい同期の作成 \* ] をクリックします。
2. [ 同期関係の定義 \* ] ページで、ソースとターゲットを選択し、[ 続行 \* ] をクリックします。

「 \* データブローカー \* 」ページが表示されるまで、手順を完了します。

3. [ \* データブローカー \* ] ページで、[ \* データブローカーの作成 \* ] をクリックし、[ \* Amazon Web Services \* ] を選択します。

データブローカーがすでにある場合は、をクリックする必要があります  最初にアイコンをクリックします



4. データブローカーの名前を入力し、[\* 続行] をクリックします。
5. AWS でデータブローカーを作成するために、Cloud Sync アクセスキーを入力します。

キーは保存されず、他の目的に使用されることもありません。

アクセスキーを指定しない場合は、ページの下部にあるリンクをクリックして CloudFormation テンプレートを使用します。このオプションを使用する場合は、AWS に直接ログインするため、クレデンシャルを指定する必要はありません。

CloudFormation テンプレートを使用してデータブローカーインスタンスを起動する方法を紹介したビデオを次に示します。

▶ [https://docs.netapp.com/ja-jp/occm//media/video\\_cloud\\_sync.mp4](https://docs.netapp.com/ja-jp/occm//media/video_cloud_sync.mp4) (video)

6. AWS アクセスキーを入力した場合は、インスタンスの場所を選択し、キーペアを選択し、パブリック IP アドレスを有効にするかどうかを選択します。既存の IAM ロールを選択した場合は、Cloud Sync によってロールが作成されるようにこのフィールドを空白のままにします。

独自の IAM ロールを選択した場合は、 [必要な権限を指定する必要があります](#)。

### Basic Settings

#### Location

Region

US West | Oregon

#### Connectivity

Key Pair

newKey

#### VPC

vpc-3c46c059 - 10.60.21.0/25

#### Enable Public IP?

☒ Enable ☐ Disable

#### Subnet

10.60.21.0/25


#### IAM Role (optional)

7. VPC でのインターネットアクセスにプロキシが必要な場合は、プロキシの設定を指定します。
8. データブローカーが利用可能になったら、Cloud Sync で [\* 続行 ] をクリックします。

次の図は、AWS に正常に導入されたインスタンスを示しています。

### Select a NetApp Data Broker

1 NetApp Data Brokers

 name

Active

US West (Oregon) Region	10.60.21.0/25   vpc-3c46c059 VPC	10.60.21.5 Private IP	5f5002eecf378e000a560988 Broker ID
us-west-2c Availability Zone	10.60.21.0/25   subnet-e7f526be Subnet	i-0fc5c97e2f5f22c20 Instance ID	

9. ウィザードのページに入力して、新しい同期関係を作成します。

AWS にデータブローカーを導入し、新しい同期関係を作成しました。このデータブローカーは、追加の同期関係とともに使用できます。

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.